

入江崎水処理センター



KAWASAKI CITY
川崎市

入江崎水処理センター概要

この水処理センターは、川崎市で最初(昭和36年9月)に建設され、川崎区の全域と幸区の一部からなる入江崎処理区を対象とします。

本処理区は、下水排除方式として合流式下水道を採用しており、大島、渡田、六郷、京町、観音川、大師河原、戸手、小向、古市場の各ポンプ場から圧送された汚水を標準活性汚泥法により高級処理し、消毒後東京湾に放流します。また処理した水の一部は、場内の機械用冷却水などに再利用しています。

なお、当処理区域の下水道普及率は99.9%(平成7年度末現在)となっております。

所在地	川崎市川崎区塩浜3丁目17番1号	
敷地面積	153,030㎡	
計画処理面積	1,999ha	
計画処理区域人口	310,000人	
計画処理水量	晴天時1日最大	357,000㎡
	雨天時1日最大	770,000㎡
処理方式	水処理 標準活性汚泥法	
	流入予定水質	目標処理水質
	BOD 180mg/ℓ	BOD 18mg/ℓ
	S S 150mg/ℓ	S S 30mg/ℓ
排除方式	合流式	
放流水域	東京湾	
認可年月日	都市計画法決定	昭和49年2月4日
	都市計画法事業認可	昭和50年1月21日
	下水道法事業計画認可	昭和47年3月21日
稼働年月日	昭和36年9月25日	



沈砂池



東系最初沈澱池

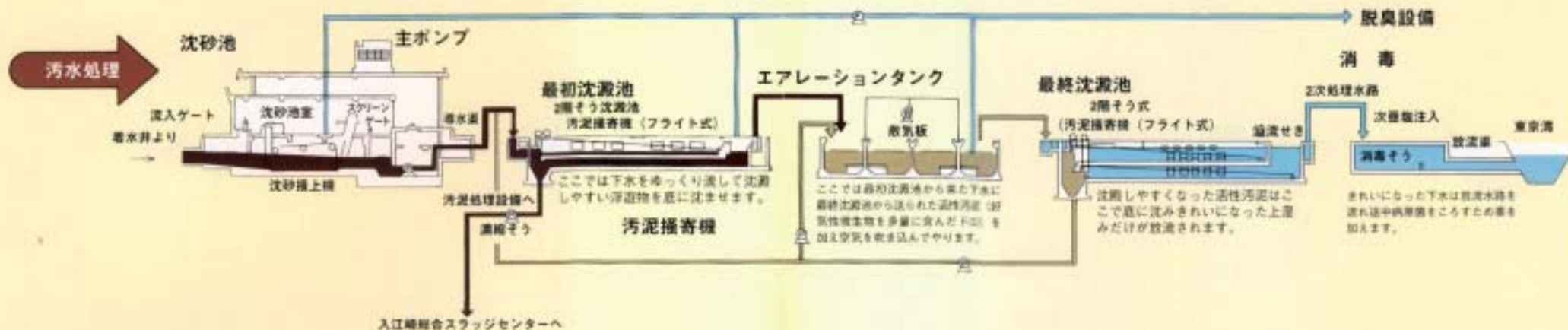


西系最初沈澱池



西系エアレーションタンク

入江崎水処理センターのしくみ 下水処理フローシート



最終沈澱池



放流渠



中央監視室

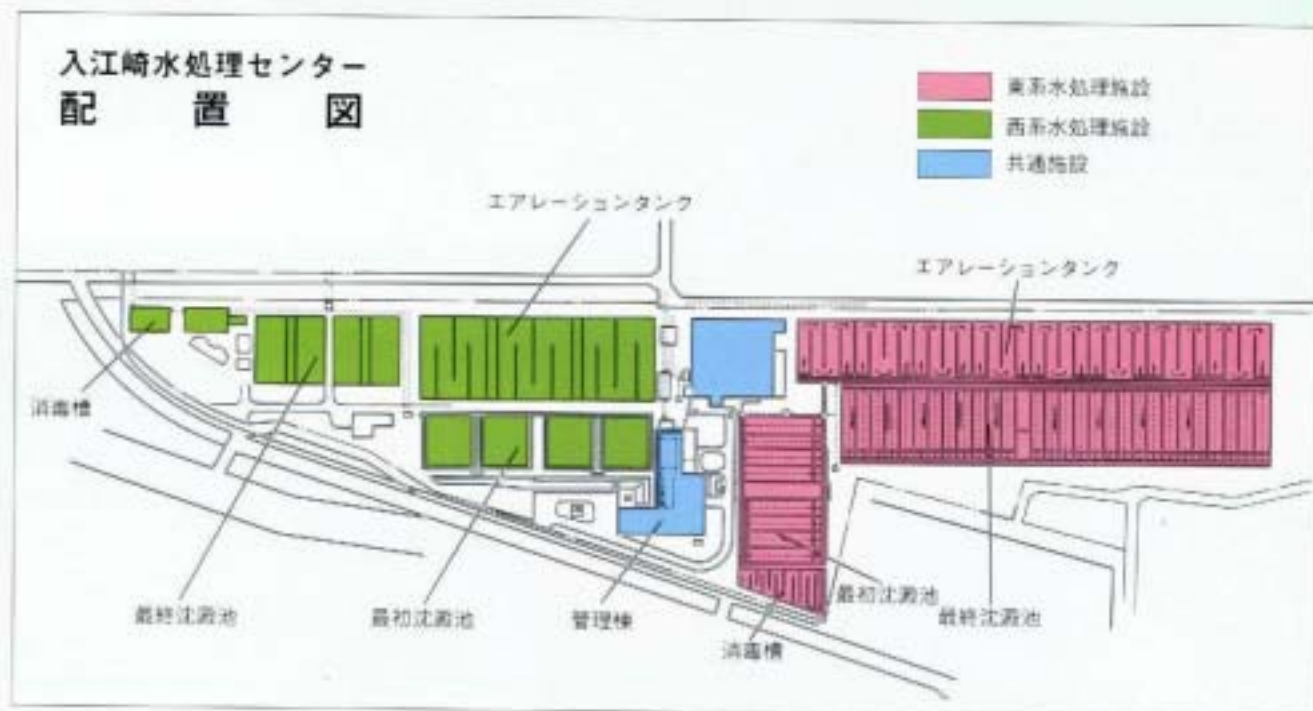
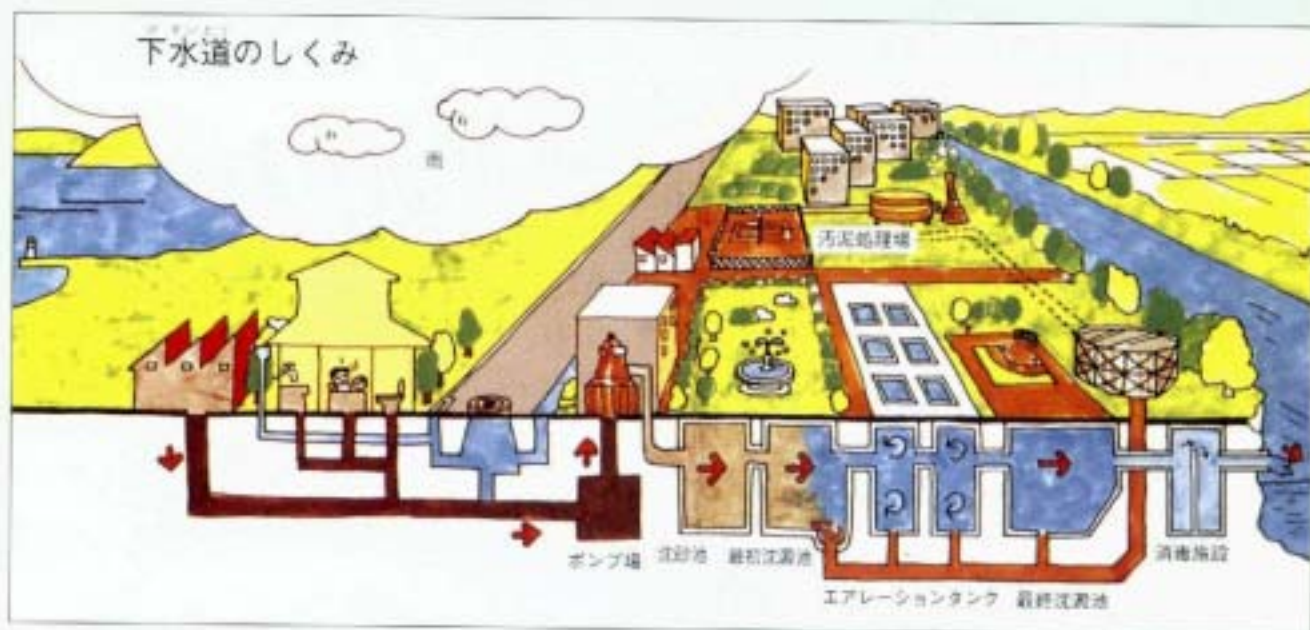


水質試験室

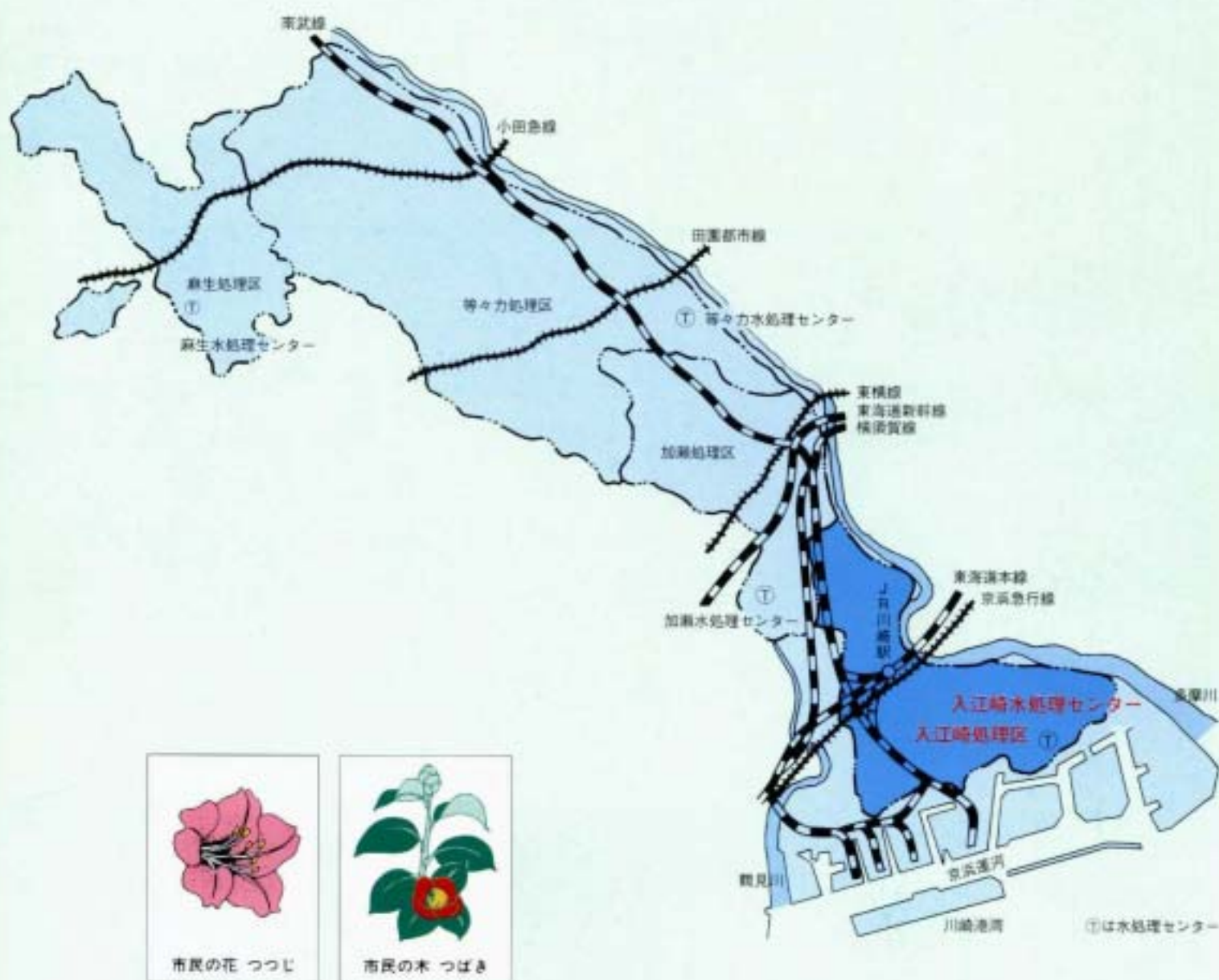
下水道のはたらき

下水道は、私たちの快適な都市生活を守るうえで次のような役割をします。

- ★汚水は、道路の下に埋められた下水管を通るため、まちは明るく美しくなります。
- ★水洗便所の使用ができ、ハエや悪臭のない快適な生活となります。
- ★雨水は、すみやかに排除され浸水の防止となります。
- ★川や海が美しくきれいになり、昔の姿を取り戻すことができます。
- ★処理された水は、工業用水などに利用できます。



明るいまちは、 よい環境から……



川崎市入江崎水処理センター

〒210 川崎市川崎区塩浜3-17-1 ☎ 044(287)5202